

全日本ピアノ指導者協会

本部 東京音楽研究会 あゆみ

- 昭和41年5月 邦人作品研究団体として東京音楽研究会設立。洋楽演奏といえば、ベートーヴェンでありショパンというように、外国作品がほとんどであるところから、日本人の作曲家の手による日本の曲を研究しなければならないことに痛感、東京音楽研究会を設立する。
- 42年1月 この間、この主旨をアピールすると共に同志を募る
会長 木下保(伊楽家、元東京芸術大学教授、現洗足学園大学教授 兼授賞賞授)
- 柏木 俊夫(作曲家、東京学芸大学教授)
平井美奈子(伊楽家、元東京学芸大学教授、現上野学園大学教授)
森 敏孝(伊楽家、武蔵野音楽大学講師)
安倍 圭子(マリンバ演奏家)
他、数人の同志役員を得る
会設立者 福田靖子
- 42年1月12日 第1回やまとことばを美しく——木下保公開レッスンを東京文化会館にて開催。伊楽界にヤンペー ションをおこす。
以後、継続的に開催。
- 42年1月28日 同志会員、研究部会員により「くらしの中によい音楽」を開催
これからの音楽の方向を示し、好評を得ず。
- 42年4月28日 第1回〈東音〉ピアノゼミナール開催
三本柱名「子供のピアノ指導法について」
ピアノの指導法は旧態依然とした、バイエルによるものがほとんどであるため、日本人の子供のための「日本のピアノ教育の研究、啓蒙を目的として、〈東音〉ピアノゼミナールを開催。
- 42年8月30日 滝廉太郎作品研究会 開催
日本音楽の親ともいへば滝廉太郎の全作品の研究會。未発表の2作品も発掘するなど、音楽界に貢献。朝日新聞などにも取り上げられる。
- 43年3月1日 原博ピアノ曲演奏会 開催
邦人作品によるピアノ曲開発のため、比較的ピアノ作品の多い作曲家、原博の全ピアノ曲を取りあげる。
この頃より、他の演奏会でも日本人のピアノ曲が演奏されるようになり、日本楽壇に対する啓蒙貢献は、はかりしれないものがある。
- 43年5月13日 〈東音〉ピアノ奏法系統的研究 開催
第1次 中山靖子公開レッスン
一人の教授による系統的な研究の必要性を痛感し、ピアノ奏法系統的研究を開催す。
- 44年5月26日 〈東音〉ピアノ教材研究
第1回 片山緑「バイエルのおけいこ時代を楽しく」
ピアノ教材を中心とした研究会の必要性を痛感。
〈東音〉ピアノゼミナール〈東音〉ピアノ奏法系統的研究の他にさらに、〈東音〉ピアノ教材研究をもうける。この三本柱を中心に、今日迄、ピアノ教師の啓蒙を続けている。
- 45年4月 過去数年に及ぶ、ピアノ教師の組織化、啓蒙などに対し、一般紙か注目、共同通信社を始めとして、各社、週刊紙などより取材される。
- 45年12月 アメリカの「ピアノキルドノート」トライアングル、いずれも音楽誌に福田靖子を中心とする東京音楽研究会の紹介記事が掲載される。これより、アメリカのピアノキルド、音楽教師の協会、音楽出版社、イギリスの音楽出版社との交流をもち、内外ともに知られた研究団体となる。
- 45年9月 〈東音〉の招きで、アメリカのピアノリストで、バルトークの研究者、演奏家、教授者として著名、ヨルダ・ノヴィックが来日。東京、大阪に於てピアノゼミナール「バルトーク/子供のためのピアノの弾き方」を開催、好評を得ず。
- 46年1月 理想的ピアノ教師を育てるためには、その養成機関の必要性を痛感し、全日本ピアノ指導者協会準備委員会を設け、研究生制度を設け、生徒の募集を開始する。
- 46年4月22日 〈東音〉某鳴教団において、全日本ピアノ指導者協会研究生の発会式を行う。
- 46年5月 研究生のために、音楽史研究、ピアノ教師のための教養講座、バスターンのメソッドによる指導法、の3講座を開講、研究生はもとより、一般のピアノ教師に喜ばれる。

音楽史研究— 日本の著名な先生方による、それぞれ専門分野の講演。

ピアノ教師のための教養講座— 日常の事から指導法まで、渡って、諸先生の講演と実習。

バスターンのメソッドによる指導法— アメリカのピアノ教師であるバスターン夫妻の著わした世界で最も新しいメソッドを取り入れての指導法の講演と実習。

- 46年8月 〈東音〉の招きで、アメリカ人としては最初のロンティボー・コンクール入賞者である、ピアノリスト、ジョー・カッツが初来日。各地でリイタル、マスタークラスを開催。好評を得る。
- 47年3月 東京音楽研究会主宰者福田靖子、アメリカのM・T・N・A.コンベンション音楽指導者協会、第97回総会に招かれ、渡米。
- 47年5月25日 伊奈和子ピアノリサイタル
家族そろって楽しめる音楽会を目指して開催。
- 47年8月 アメリカ演奏旅行。
夏休みを利用して、会員及びその子弟と共に、邦人作品を携えて渡米、各地で交歓演奏会等々出演、大成功を納める。
- 47年度夏 第1回ヨーロッパ音楽の旅 挙行— これより毎年、ヨーロッパ音楽旅行を開催— 好評を得ず。
- 47年10~11月 ヨルダ・ノヴィック女子〈東音〉の招きで来日、バルトークの講演を行う。
- 47年11~12月 アメリカの新鋭ピアニストドワード・アワーを招聘し、リイタル、マスタークラスを開催、音楽愛好家、ピアノ学習者に喜ばれる。
- 48年8月27日~ この夏より全日本ピアノ指導者協会、研修会として、全国大会の季節開催を始める。
- 49年7月~ 第3回ヨーロッパ音楽の旅— 25名参加



M. T. N. A. フロントシキとヨルダ・ノヴィック女史を囲んで(ワシントンにおいて)

- 51年8月 アメリカ200年記念第3回東アメリカピアノフェスティバルに参加のため、会員35名渡米。その内のメンバー5名により新しく出版された邦人ピアノ曲を演奏、好評を得ず。
- 52年7月~ 協会十周年を記念し、ピアノレパートリーグレード研究。また子どもピアノコンクールを立案。
- 52年 7月25・26日 全日本ピアノ指導者協会夏期研修会前期
8月29・30日 全日本ピアノ指導者協会夏期研修会後期

催物経過表(自主公演のみ)

- コンサート
- 42年1月28日 くらしの中によい音楽— 石橋貞生作曲オレッタ 河童評他
森敏孝、山形忠順他
- 42年8月30日 滝廉太郎全作品研究会 滝廉太郎作曲音楽曲ピアノ曲
- 43年2月27日 杉谷昭子ピアノリサイタル 柏木俊夫作曲「奥の細道」他
- 43年3月1日 原博ピアノ曲演奏会 原博作曲「21のテュード」他
- 44年9月4日 杉谷和子ピアノリサイタル 原博作曲「シャコンヌ」他
- 46年8月18日 ジョージ・カッツピアノリサイタル(静岡公演)
ギボンズ、ベートーヴェン、パパー他
- 46年8月20日 ジョージ・カッツピアノリサイタル(大阪公演)
- 46年8月27日 ジョージ・カッツピアノリサイタル(東京公演)
- 46年9月1日 ジョー・シ・カッツピアノリサイタル(倉敷公演)
- 47年5月25日 伊奈和子ピアノリサイタル 原博、湯山昭、有馬礼子の作品他
- 47年9月13日 崎崎高子・金子勝子・小原洋代ピアノジョイントリイタル パツッパ、リスト、ショーマン、フランク他 ハ
三浦浩・埴子ピアノリサイタル モーツァルト、ベートーヴェン、ラベル他
- 47年9月24日 アメリカ演奏旅行帰国演奏会
- 47年10月16日 エドワード・アワーピアノリサイタル(東京公演)
- 47年12月4日 モーツァルト、ベートーヴェン、ショパン

やまとことばを美しく 木下保公開レッスン

- 第1回 42年1月12日 日本語の特質と外国語との比較、年令別による練習法、他
- 第2回 43年1月12日 同一歌詞による独唱曲・合唱曲の演奏法の違い
- 第3回 44年1月14日 日本の心をとらう 第1回
- 第4回 45年1月19日 日本の心をとらう 第2回

《東音》ピアノゼミナール

- 第1回 42年4月24日 三宅 榛名 子供のピアノ指導法について
- 第2回 42年5月29日 村上 遼隆 心理学的なピアノ指導法
- 第3回 42年6月21日 三浦みどり ピアノ指導上の留意点
- 第4回 42年7月24日 宮沢 明子 楽しいピアノのおけいこ
- 第5回 42年9月25日 奥村 一 現代曲(含邦人作品)の演奏法と指導法
- 第6回 42年10月31日 三宅洋一郎 バッハ/インベンションの新奏法について
- 第7回 42年11月27日 川村 深雪 伴奏法の諸問題
- 第8回 43年1月29日 中山 靖子 ソナチネ程度のピアノ基礎奏法について
- 第9回 43年2月26日 池本 純子 ベダルの使い方
- 第10回 43年3月25日 香山 三郎 テクニックをつけるための基礎練習について
- 臨時例会 43年4月18日 三宅榛名 ミモモピアノ曲自作自演
- 第11回 43年4月30日 佐藤敏直他 バイエル研究
- 第12回 43年5月30日 伊達 純 ピアノ練習法の問題点(ツェルニ 100番より)
- 第13回 43年6月24日 中山 靖子 ピアノタッチのいろいろな問題
- 第14回 43年7月22日 吉田 実 これからの電子オルガン
- 臨時例会 43年8月30日 河村昭三 おさらい会のための曲選びについて
- 第15回 43年9月30日 三宅洋一郎 バッハ/小前奏曲の弾き方



リリー・クラウス女史を囲む会の前

- 第16回 43年10月28日 伊藤 義雄 バッハ/ピアノ曲の取扱ひ方
- 第17回 43年11月25日 田村 宏 日本のピアノ教育の問題点
- 第18回 44年1月30日 坪田 昭三 フランスのピアノ小品について
- 第19回 44年1月30日 深沢 亮子 モーツァルトとそのピアノ曲について
- 第20回 44年3月24日 水谷 達夫 ピアノの教え方と諸問題
- 第21回 44年4月21日 中田 喜直 中田喜直作曲子供のピアノ曲
- 第22回 44年5月22日 金沢 純子 ピアノの美しい音の出し方
- 第23回 44年6月30日 伊達 純 ピアノの楽曲分析と演奏法について
- 第24回 44年7月21日 中山 靖子 ピアノのさらけ方の段どり
- 第25回 44年9月30日 小林 仁 ピアノ学習者のための和声楽入門
- 第26回 44年10月27日 宮沢 明子 ピアノのおけいこ
- 第27回 44年12月8日 三宅洋一郎 フランス組曲5番の弾き方
- 第28回 45年1月30日 三浦 洋 音大受験生のピアノ曲の仕上げ方
- 第29回 45年2月23日 三浦 洋 オケストラ伴奏をピアノで弾く場
- 第30回 45年3月23日 伊奈 和子 子供のためのベートーヴェン
- 第31回 45年4月27日 三宅 榛名 現代曲の子供への与え方
- 第32回 45年5月25日 三浦みどり 三浦みどりの音楽を築きむ会
- 第33回 45年6月29日 阿部耕沙子 ホーランドのピアノ
- 臨時例会 45年7月20日 室井摩耶子 音楽を理解する基礎的・・・般的な問題
- 臨時例会 45年9月7日 ヨルダ・ノヴィック バルトーク/子供のためのピアノ曲の弾き方(大版)
- 第35回 45年9月14日 ヨルダ・ノヴィック バルトーク/子供のためのピアノの弾き方
- 第36回 45年10月26日 田村 宏 音大受験生のために
- 第37回 45年11月16日 児玉邦夫・幸子 連弾のよるこび
- 第38回 46年1月18日 岩崎 眞 ピアノと他楽器とのアンサンブル
- 第39回 46年2月15日 山岡 淑 チェンバロ音楽とことば
- 第40回 46年3月29日 田村 宏 田村宏を囲む会
- 第41回 46年4月26日 山崎 孝 バルトーク/ミクログコスモスの弾き方
- 第42回 46年5月24日 笠原みどり イタリアにおけるピアノ学習について
- 第43回 46年6月29日 三浦 清 現代作曲家による子供の為のピアノ曲の弾き方
- 第44回 46年8月23日 ジョージ・カツ アメリカの現代作曲家による子供のためのピアノ曲の弾き方
- 第45回 46年9月27日 三沢 慶子 ジュリアード音楽院でのピアノ学習
- 第46回 46年10月25日 山岡 操子 コンセルヴァトールでのピアノ学習
- 第47回 46年11月29日 深沢 亮子 ウィーンでのピアノ学習について
- 第48回 47年1月31日 阿部ミドリ スペインでのピアノ学習
- 第49回 47年2月28日 久保田恵子 プラハ音楽院でのピアノ学習
- 第50回 47年5月8日 福田 靖子 M・T・N・A全米大会に出席して
- 第51回 47年11月1日 ヨルダ・ノヴィック バルトーク/子供のためのピアノ曲の弾き方

- 第52回 47年11月27日 エドワード・アワー ショパン/ピアノ曲の弾き方
- 第53回 47年12月1日 エドワード・アワー ベートーヴェン/ピアノソナタの弾き方
- 第54回 48年2月5日 市田篤一郎 音大受験生のために バッハ曲
- 第55回 48年3月30日 中村佐和子・佐伯慶子他 バスティン・メソード講習会・木村美江

《東音》ピアノ教材研究

- 第1回 44年5月26日 バイエルのおけいこ時代を楽しく 片山毅 「楽しいバイエル」
- 第2回 44年7月14 めずらしいソナチネ程度のピアノ曲 杉谷昭子・高橋雪子・横山志津子 有馬礼子/子供の庭の全曲、フランスのピアノ教材
- 第3回 44年8月29日 あたらしいピアノ曲と古典曲 小島妙子・原博/21のエチュード全曲 モーツァルト作品
- 第4回 44年10月17日 コダーイ・システムによるピアノ導入法 加勢るり子 「ピアノの一年生」
- 第5回 44年11月24日 松平頼則/わらべ唄による子供のためのピアノ曲集 佐々木栄幸子他
- 第6回 45年5月11日 一人一人の子供がしあわせになる音楽教育を「やさしいピアノ曲集」他 橋内良枝
- 第7回 45年9月11日 湯山昭/日曜日のソナチネ 小林仁他
- 第8回 45年12月7日 奥村一/子供の広場 奥村一
- 第9回 46年7月12日 ハンガリー/子供のためのピアノ曲研究 久賀雪子
- 臨時例会 47年7月3日 助川敏弥/小さな四季 全曲 助川敏弥
- 第11回 47年8月28日 浅川春男/創造の森 浅川春男
- 第12回 48年1月28日 木村雅信/こどもの対位法 木村雅信

《東音》ピアノ奏法系統的研究

- 第1次 中山靖子公開レッスン
 - 第1回 43年5月13日 バイエル、ハノン
 - 第2回 43年6月10日 フルグミュラー
 - 第3回 43年7月8日 ツェルニ30番
 - 第4回 43年9月9日 ソナチネアルバム
 - 第5回 43年10月14日 バッハ/インベンション
 - 第6回 43年11月11日 ツェルニ40番、50番
 - 第7回 43年12月9日 ソナタアルバム1・II巻
 - 第8回 44年1月13日 メンデルスゾーン/無言歌
 - 第9回 44年2月10日 シューベルト/小品集
 - 第10回 44年3月17日 ショパン/ワルツ・ノクターン
- 第2次 井口基成公開レッスン
 - 第1回 44年5月14日 二声1〜7番
 - 第2回 44年6月9日 二声8〜15番
 - 第3回 44年7月1日 三声1〜7番
 - 第4回 44年7月9日 三声8〜15番
- 第3次 田村宏公開レッスン
 - 第1回 44年9月9日 タッチの問題 ツェルニ30番
 - 第2回 44年10月10日 発想の問題 ソナチネ1巻
 - 第3回 44年11月11日 ベダルの使い方 ソナチネ1巻
 - 第4回 44年12月12日 ピアノ教師のあり方 ピアノ演奏 田村宏
- 第4次 黒沢愛子公開レッスン
 - 第1回 45年1月12日 ハイドン
 - 第2回 45年2月9日 モーツァルト
 - 第3回 45年3月16日 ベートーヴェン
- 第5次 香山三郎公開レッスン
 - 第1回 45年6月8日
 - 第2回 45年7月13日
 - 第3回 45年7月27日
 - 第4回 45年8月24日
- 第6次 伊達純公開レッスン
 - 第1回 45年9月28日 モーツァルト ピアノソナタを中心に
 - 第2回 45年10月19日
 - 第3回 45年11月30日
 - 第4回 45年12月14日
- 第7次 児玉幸子・邦夫公開レッスン
 - 第1回 46年1月25日 子供のピアノ教育に於ける連弾曲の取扱ひ方
 - 第2回 46年2月22日 ディヒラー/ピアノの勉強 他 おさらい会のための連弾曲 児玉幸子・邦夫編/連弾曲集 他
 - 第3回 46年3月15日 連弾に於ける音楽表現のあり方 モーツァルト/ピアノ連弾のためのソナタ
- 第8次 田村宏公開レッスン
 - 第1回 46年5月17日 作曲家と共に
 - 第2回 46年6月14日 スカルラッチィ
 - 第3回 46年7月19日 バッハ

- 第4回 46年9月13日 ハイドゥン
 - 第5回 46年10月11日 モーツァルト
 - 第6回 46年11月8日 モーツァルト
 - 第7回 46年12月13日 ベートーヴェン
 - 第8回 47年1月17日 ベートーヴェン
 - 第9回 47年2月14日 メンゲルスゾーン、ショパン
 - 第10回 47年3月13日 ショパン
- 第9次 井口基成公開レッスン**
- 第1回 47年5月22日 ハイドゥン
 - 第2回 47年6月7日 モーツァルト
 - 第3回 47年6月26日 バッハ、フンメル、クレメンティ他
 - 第4回 47年7月12日 ベートーヴェン

音楽史研究

ピアノ音楽を中心として

- 第1期 バロック時代のピアノ音楽の発達**
- 第1回 46年5月28日 バッハ 辻 莊一
 - 第2回 46年6月25日 ヘンデル
 - 第3回 46年7月16日 スカルラッティ
- 第2期 古典派**
- 第4回 46年9月17日 ハイドゥン 武川寛海
 - 第5回 46年10月22日 モーツァルト
 - 第6回 46年11月26日 ベートーヴェン 山根銀二
 - 第7回 46年12月10日 ベートーヴェン
- 第3期 ロマン派**
- 第8回 47年1月28日 ショパン 野村光一
 - 第9回 47年2月25日 ショパン
 - 第10回 47年3月17日 シューマン

ピアノ教師のための教養講座

- 第1回 46年5月24日 福田 靖子 理想的なピアノ教師像(嫌われる教師など)
- 第2回 46年6月18日 橋内 良枝 音楽教室運営法
- 第3回 46年7月9日 清岡 芳子 おさらい会、いろいろな余画のたて方
- 第4回 46年9月10日 坪野 春枝 創作教育
- 第5回 46年10月1日 木村 美江 どの子もよく育つピアノ教授法Ⅰ
- 第6回 46年10月8日 木村 美江 どの子もよく育つピアノ教授法Ⅱ
- 第7回 46年12月17日 福田 靖子 日本で出版されているピアノ入門書
- 第8回 47年1月21日 江端 豊子 リトミックについてⅠ
- 第9回 47年2月18日 江端 豊子 リトミックについてⅡ
- 第10回 47年3月10日 重松恵美子 親会のおはなし
- 第11回 47年7月17日 横井美智子 ピアノ指導法

新しいピアノメソッド研究

48年4月より1ヶ年毎10回にわたり開催 福田靖子

全日本ピアノ指導者協会

昭和48年度夏期研修会

- 48年8月27日 原田 敦子 これからの音楽教育を考える
- 8月28日 橋内 良枝 音楽教室繁栄のために
- 千蔵 八朗 徳内 悠子 音楽指導の一考察
- 会員子弟によるピアノ演奏
- 石川 文子 レパートリー拡大のために
- 8月29日 安川加寿子 フランスの音楽教育
- 林 光 わが音楽教育への反省

48年秋

- 9月24日 アメリカ演奏旅行帰国報告会及び演奏会
- 10月10日 桐朋学園子どもための音楽教育参観
- 10月22日 アルバート・ナカダアメリカのプライベート音楽教育の現状

昭和48年度冬期研修会前期

- 12月25日 館野 泉 北欧ピアノ曲の特色とその魅力
- 12月26日 原 博・北川暁子 ツエルニョ30番程度の新しいピアノ教材研究
- 原博作品を中心に
- 会員子弟によるピアノ演奏
- 小林 仁 バッハ・クラヴィア作品の教育的価値の再考

昭和48年度冬期研修会後期

- 49年1月6日 中西 光 わらべ唄を素材としたピアノ導入法とソルフェージュの効果的指導法
- 田村 宏 バッハ・インヴェンションの演奏法とその指導法、その1
- 1月7日 中田 喜直 子どものピアノ教育を考える
- 田村 宏 バッハ・インヴェンションの演奏法と指導法、その2
- 佐藤菊夫・西川清子 アンリンプル音楽へのおさそい

昭和49年度春期研修会

- 3月27日 児玉 幸子・邦夫 ピアノ連弾の演奏技法について
- 高橋 悠治 未来を探る音楽教育
- 小原祥代・嶋崎晶子 新しいピアノ教材紹介
- 田村 宏 音楽の心を伝えるピアノ演奏法その1

49年春～初夏

- 5月6日 野村 光一 名ピアニストとその音楽
- 田村 宏 音楽の心を伝えるピアノ演奏法その2
- 金子 勝子 佐伯麻子 子供のピアノテクニックを無理なくつける教材
- 山崎 孝 バッハ・アンナマグダレーナの為の小品集全24曲の弾き方
- 6月4日 リリー・クラウスを囲む会

昭和49年度夏期研修会前期

- 7月30日 坂田 道太 文化講演・人間性と音楽
- 清岡 芳子 子供のための音楽パーティのアイディア
- 上田昭・霧生トシ子 クレメンティを見直す
- 7月31日 野村 光一 名ピアニストとその音楽
- 中村 絃子 楽譜から読みとる演奏様式古典派とロマン派の演奏の違い
- 一柳 慧 これからの音楽

昭和49年度夏期研修会后期

- 8月27日 安川加寿子 リンクル参加の意義を考える
- ハニー・ウォーターマン 新しいピアノ導入法を考える
- 8月28日 三浦 浩 ピアノ演奏に於けるロマン性について
- ハニー・ウォーターマン 世界のピアノ教育の潮流
- 清岡 芳子・坂倉克子 子供クリスマスパーティの実際
- 中村 絃子 ピアノ協奏曲公開レッスン

49年秋

- 11月11日 ニール・チョス 田・ロッパ・アメリカ幼児ピアノ教育の潮流

昭和49年度冬期研修会

- 12月2日 バンス・カン古典派ピアノ曲の演奏法
- エドワード・アワーショパンのピアノ演奏法古典曲奏法との違い
- 高橋 アキ 現代曲とわたくし

49年度冬

- 12月3日 エドワード・アワー ピアノレッスン及び(夜)
- エドワード・アワーを囲む会
- 50年1月6日 館野 泉を囲む会
- 2月3日 霧生トシ子を囲む会
- 2月20日 石川 文子・早瀬一洋を囲む会

昭和50年春期研修会

- 3月30日 木村 雅信 音楽的演奏とは
- 霧生トシ子 生活の中のピアノ教材
- クラシックとポップスの合同
- 塚原 哲夫 音楽天国
- 3月31日 岩崎 洋 ピアノを楽しく弾くために
- 高橋 悠治 わたしのバッハ

昭和50年春～初夏

- 5月18日 高橋 悠治 バッハ・インヴェンション全曲
- 5月19日～8月18日 全6回に亘り
- 井上芳子・金子勝子・福田靖子他
- バスティン教授夫妻来日記念バスティン研究会

昭和50年度夏期研修会前期

- 7月22日 市田儀一郎 やさしいバッハの曲から中級にかけたのバッハ曲の引き方
- 深沢 亮子 モーツァルト演奏法の特徴
- 7月23日 諸井 誠 幼児から知性と感性の音楽教育を
- 中川弘一郎 自分から楽しくピアノ演奏する子どもを育てるために
- 中沢 桂 音楽家からみたピアノ教育への提言
- 中田 喜直 ブルグミュラー・op109公開レッスン

昭和50年度夏期研修会后期

- 8月26日 児玉 マリ ピアノから電子オルガンへ
- ジェーン・バスティン はじめましてピアノさん
- 中村 絃子 ショパンわたくしの解釈・公開レッスン
- 8月27日 ジェーン・ジェームス・バスティン夫妻
- 子どもの音楽性を延ばす教育



中村絳子と生徒を囲んで、(公開レッスン・イヤーデーションの期)

中村 菊子 幼児のピアノメカニク指導
 ジェームス・バスティン パッサカリアから現代曲までの小品の指導法

50年秋～冬

- 9月28日 市田儀一郎 パッサ・イギリス・フランス組曲研究会
 10月30日～51年3月 全8回
 ラーリー・マックガレルバスタングレードによる指導法
 11月16日 金子勝子・ラーリー・マックガレル 初め(バス)ィンに接する
 方の為に

昭和50年度冬期研修会

- 51年2月1日 中村佐和子 かぶとわしがきょううたいで他
 小山 清茂 日本のピアノ
 湯山 昭 お菓子の世界

51年初夏

- 6月10日 細野節子・川崎智子・木原善美江・辻映子 四会福田靖子フレッ
 シュマン 二重奏
 6月13日 アメリカ建国200年記念 大いなるアメリカ

昭和51年度夏期研修会前期

- 7月20日 日下部憲夫 音楽の基礎教育
 7月21日 安川加寿子 ドビッシンのピアノ曲・公開レッスン
 小林 仁 アルプス・ブレッタ・について公開レッスンと対談
 諸井 誠 バロックから現代までの音楽様式に学ぶ
 三浦 浩 シューマンのピアノ曲

昭和51年度夏期研修会後期

- 8月29日 林 光 私にとってのピアノ
 原田 敦子 幼・小・中学生の創作指導
 中村 菊子 バランスのとれた音楽家であるピアニストに育てる
 には
 8月30日 小川静子・上総治子・川崎智子 誰でもできる移調を指導
 ロト・美代子、中村絳子 ジュリアード音楽院の音楽教育を語る
 中村 菊子 真のピアノテクニックとは
 中村 絳子 ピアノ演奏テクニックを高める法・公開レッスン

51年秋～

- 9月12日 シェンドール・フェルバインガリーの音楽教育を語る

昭和51年度冬期研修会

- 12月5日 川崎 智子 幼児のピアノ導入法・長調主義と全調主義の違い
 ラーリー・マックガレル初見力を高める教育法
 12月26日 中村 菊子 子供のバッハへの導入
 中村 菊子・辻映子 子供への現代曲の与え方
 52年1月30日 福田 靖子 子供の創作指導
 藤原亜津子 受験生と共に歩む音楽教師のあり方
 2月13日 上総 治子 移調力を高める指導法
 日下部憲夫 レパートリーを拡げる教育法
 2月27日 小川 静子 幼児のリズム指導
 伊奈 和子 ベタリングの指導法
 3月13日 浅見 英夫 成人のためのピアノ導入法
 石川 文子 ピアノメカニクを高める指導法



バスティン教授御夫妻を囲んで

昭和52年度春期研修会

- 5月15日 ボール・C・ボレイ 古典派音楽、ベートーヴェン
 印象派音楽 ドビッシン
 5月29日 橋本 英二 初期フランスの鍵盤音楽、スカルラッティ100のソ
 ナタ

昭和52年度夏期研修会前期

- 7月25日 芥川也寸志 これからの音楽教育の方向
 霧生トシ子 現代生活の中からのピアノ教育
 7月26日 小林 仁 バッハ・インベンションの演奏法
 中川弘一郎 遊びからピアノへの導入法とその発展カリキュラム
 中田 喜直 公開レッスン

昭和52年度夏期研修会後期

- 8月29日 中村 菊子 ジュリアード音楽院における子供の教育について
 児玉 幸子、邦夫 連弾ピアノ奏法の奥義
 8月30日 松崎 伶子 リストピアノ曲への導入
 武田 憲子 子どもへの現代曲の与え方
 日下部憲夫 無理なく幼児のピアノメカニクを築く法
 田村 宏 モーツァルトのピアノソナタの演奏法

52年秋

- 9月30 ジェーン・バスティン バスティン研究(ピアノレッスン・プリア
 ーの使い方)
 11月16日 ロマン・オルトナー 時代別演奏様式の表現法

昭和52年度冬期研修会

- 12月12日 川崎 智子 バスティンメソードの理念・5つのコース
 12月26日 藤本 夏子 子どものピアノ導入法
 53年1月17日 小川 静子 子どもの創作指導
 1月30日 武田 宏子 子どものピアノメカニク
 2月13日 金子 勝子 レパートリーを拡げるための教材研究
 2月27日 藤原亜津子 連弾アンサンブルの指導法
 3月13日 ラーリー・マックガレル 文人・老人のためのピアノ教育法
 3月27日 福田 靖子 移調、楽典の指導法

52年冬

- ピアノ教師のための公開講座——
 52年12月15日～53年3月23日 全4回に亘り
 日下部憲夫 個性に応じた実践的ピアノ指導法
 52年12月9日～53年4月14日 全4回に亘り
 池田 早梅 幼児から始める創作指導法
 53年1月12日～3月2日 全3回に亘り
 富田 巧 やさしいリトミック

53年春

- 1月17日 モーリス・ヒンソン 19世紀アメリカのピアノ音楽について
 5月29日 五代 米子 音楽から始まるリズム・ソルフェージュ指導

53年夏

- ピアノ・ヤングピアニスト オープン・シホンの為に——
 5月28日 金子 勝子 課題曲、生きたモテコンサート
 6月4日 市田儀一郎 公開レッスン バロック期演奏法
 6月11日 神谷 郁代 公開レッスン ロマン派、現代曲の演奏法の違い
 7月9日 田村 宏 公開レッスン 古典派のピアノ奏法

昭和53年度夏期研修会前期

- 7月25日 アルバート・ロト夫妻 子どもの時から正しいテクニックを
 弘中 孝 ロマン派の中のブラームス
 7月26日 岩崎 淑 音楽のよろこびを友がどちと
 嵐野 英彦 幅広い音楽教育を
 館野 泉 フィンランドの音楽について

昭和53年度夏期研修会後期

- 8月29日 井上 二葉 フランスのピアノ曲の演奏法
 8月30日 板野 平 リトミックのすすめ
 田端三恵子 エッセン・バッハと私
 橋本 英二 バロック・ロココ音楽をピアノで演奏するとき
 三浦 浩 ハイドンのピアノソナタ

53年秋

- 海外音楽大学教授者によるピアノ演奏法研究——
 9月22日 李 清 ウィーン楽派の音楽表現法について
 10月2日 田端三恵子 変奏曲の演奏法、練習法
 10月18日 ベラ・シキ ショパンエチュードOp.10全12曲の演奏技法と指導法
 11月21日 ヨゼフ・ハハラ チェコのピアノ曲の音楽表現法

53年秋

- 10月19日 ニール・テョスを囲む会
- 11月27日 カローラ・グランディア ピアノ演奏法における“あがる”ということ。その予防

53年秋～冬 ——バッハ・クラヴィア曲研究——

- 10月3日 小林 仁 インベンション、奏前音・バッハ曲の学習法
- 10月23日 橋本 英二 フランス組曲 イギリス組曲
- 10月25日 ベラ・シキ エディション・リズム・ディナミック・音色について
- 12月11日 高橋 悠治 イタリヤ協奏曲、ソナタ組曲
- 12月12日 橋本 英二 トッカータ
- 12月25日 橋本 英二 平均律
- 高橋 悠治 6つのバレーイク
- 54年2月26日 中村 菊子 アンナ・マグダレーナの為の小曲集

53年秋～54年春

- 11月16日 浅見 英夫 はじめてバスティンを使う方の為に
- 11月30日 小川 静子 バスティンの中のリズム指導
- 12月21日 川崎 智子 ピアノを通しての総合音楽教育
- 54年1月11日 ラ リー・マックワレル 成人の為のピアノ導入法他メソッドとの違い
- 1月25日 上総治子・中山純子 バスティン・ライブラリーの使いか①
- 2月8日 上総治子・中山純子 バスティン・ライブラリーの使いか②
- 3月1日 池田早梅 導入時の創作指導と聴音指導
- 3月15日 金子勝子・石井和子 あそび会の為に レパートリとしての楽

54年春

- 4月29日 和田 則彦 あなたもできる、ピアノ協奏曲の楽しみ

54年春～夏 ——ピティナ ヤングピアニスト オーディションの為に

- 5月20日 松崎 伶子 公開レッスン 現代曲の演奏法
- 5月20日 館野 泉 公開レッスン ロマン期の演奏法、公開レッスン
- 5月27日 田村 宏 公開レッスン 中級・上級各期の演奏法
- 6月17日 市田橋一郎 公開レッスン 初級バロック・古典期の演奏法

- 6月17日 市田橋一郎 公開レッスン 中・上級バロック・古典期の演奏法
- 6月29日 金子勝子・松崎伶子 課題曲紹介・ピアノ独奏

昭和52年～昭和53年

ピティナ ヤングピアニスト オーディション

- 昭和52年度 プレ ピティナ ヤングピアニスト オーディション
- 8月28日～9月4日 予選 (東京・大阪・四国・九州・沖縄)
- 10月17日 本選

昭和53年度 ピティナ ヤングピアニスト オーディション

- 6月25日～7月26日 予選 (東北・東京・徳山・高松・岡山・大阪・沖縄 各会場)
- 7月27日 本選 8月29日 決勝

ピティナ ヤングピアニスト コンサート

- 昭和52年度 プレ ピティナ ヤングピアニスト コンサート
- 4月1日～4月5日 東京・大阪・徳山

昭和53年度 ピティナ ヤングピアニスト コンサート

- 昭和52年12月26日～昭和53年6月2日 茨城・長野・姫路・徳山・岡山・大阪・上田・東京・新潟

ピティナ ピアノ演奏検定

- 昭和53年 7月15日、16日 第1回検定 (東京)
- 12月10日～12月27日 第2回検定 (東京・茨城)
- 3月18日～3月30日 第3回検定 (長野・新潟・東京・大阪)

海外活動 (全日本ピアノ指導者協会主催)

- 昭和51年8月12日～8月26日 シカゴ音楽フェスティバル参加及び鑑賞旅行
- 52年11月17日～11月26日 三大音楽学校訪問の旅
- 53年6月22日～7月6日 プリガムヤング国際コンクール及びピアノフェスティバルアメリカツアー (日本代表審査員 福田 靖子)
- 54年6月21日～7月6日 プリガムヤング国際コンクール及びピアノフェスティバルアメリカツアー (日本代表審査員 中田 喜直)

以上本部活動のみで各地支部活動は含まれていない。

.....切り取り線.....

入 会 申 込 書

私こと(研修・研究・学生・特別・賛助)会員として、入会金・本部会費 をそえて入会申し込み致します。

氏名	ローマ字氏名 miss. mrs. 活字体で mr.	M T S	生年月日
----	----------------------------------	-------------	------

住所 〒	電話 ()
------	--------

在籍学校名学年 又は 在学生は 学年在学中

出身校など 卒業者は 年卒業

希望支部名 最寄りに支部がない方は、仲間5人以上で支部を作ることができます。

特に研究したいテーマなど、
また、研究実績をあげていらっしゃる方はそのテーマを。

(注意) 御送金は、なるべく同封の指定封筒で為替を御利用下さい。

年 月 日

全日本ピアノ指導協会 御中